



整備施設の紹介

那覇港クルーズ船バースは、那覇港の泊ふ頭地区に整備され、平成21年9月に供用を開始しました。

那覇港では、定期および不定期の国内外のクルーズ船が訪れる日本有数のクルーズ船寄港地であるにも関わらず、これまで貨物専用岸壁を使用しており、クルーズ船専用岸壁が無い状態が続いていました。

本施設が供用開始されたことで、クルーズ船の寄港数が増加し、クルーズ船専用岸壁供用開始後平成21年には年間57隻、海路での外国人観光客数約14万人^(※1)であったのに対し平成27年には年間115隻、海路外国人観光客数約約42万人^(※1)となりました。

そのおかげもあり、近年好調な沖縄の観光産業の発展に大きく寄与しています。

私たちとしては今後も引き続き港湾の整備を通して沖縄の発展に貢献できるよう取り組んでいきたいと思っています。

※1: H27 沖縄県観光要覧(沖縄県文化観光スポーツ部発行)

Message



自分の携わった仕事が目に見えて成果として残るこの仕事は、沖縄の基幹産業である観光を根幹から支える施設の整備であり、魅力と誇りある業務に携わっていると自覚しています。

その反面、中途半端なものは許されないプレッシャーもありますが、たくさんの利用者に溢れた施設を見るととても達成感があります。

皆さんも、一緒に仕事に携わってみませんか？

金城 元気
沖縄工業高校卒

① 那覇港クルーズ船バースの外観



② 那覇港クルーズ船バースの利用状況



③ 夜間停泊中のクルーズ船

